

区民の暮らしを守る予算になっているか…
消費税増税で12億円增收=社会保障財源分

日本共産党区議団が提出した暮らし守る条例案

条例名	条例内容	予算額
就学援助の実施に関する条例	現在の就学援助の基準を生活保護基準の1.2倍から1.5倍まで引き上げる。	9246万円
シルバーバス費用負担額の助成に関する条例	シルバーバスの取得で購入費用が20510円の方に15000円を助成するなど負担軽減を図る	3735万円
高齢者に係わる介護保険料の負担の軽減に関する条例	介護保険料の1段階から5段階の方の負担を軽減することで、高齢者の福祉の増進、生活の安定を図る	1億5072万円
住宅リフォームの促進及び区内施工業者仕事づくり条例	区内業者が行うリフォーム工事で要した経費の5分の1で40万円を上限に助成する。(当面1年限りの緊急対策)	4000万円
子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正する条例	中学生までの無料化を18才まで拡大する。	5242万円
		合計3億7295万円

歳入をみると消費税増税に
円台となりました。
くらし応援・区内事業者支援の緊急対策を提案

荒川区の新年度の一般会計
予算は約1070億円、昨年
に続き2年連続の1000億
円台となりました。

介護保険や教育費の負担軽減、仕事興しなど
くらし応援・区内事業者支援の緊急対策を提案

歳入をみると消費税増税に
よる增收分が約12億円で約49
億円に達しています。しかも
增收分のほとんどが「社会保
障財源分」という名目で交付
されているのです。

日本共産党は、消費税増
税には強く反対、5%への
減税で暮らしと経済の立て
直しすべきと求めています。
しかし、現に増税が強行
され、区の収入として地方
消費税が入っています。政
府も「社会保障のため」と
いつた手前、増税分は「社
会保障財源分」といわざ
を得ません。収が増えた
生活が困難に直面している
時だからこそ、最も身近な
地方自治体として、こうし
た財源を最大限の暮らしを
応援に振り向け、予算化し
緊急対策も含めて実施すべ
きです。

2月区議会の日程(予定)

2月13日(木) 10時～本会議
2月17日(月) 10時～本会議
2月19日(木) 10時～
総務企画、福祉区民各委員会
20日(金) 10時～
文教子育て、建設環境各委員会
2月28日(金) 10時～本会議(補)

正予算など中間議決)

2月25日(火)26日(水)28日(金)
3月2日(月)3日(火)5日(木)6日
(金) 9日(月)
10時から15時 予算特別委員会
3月13日(金)
10時～ 本会議



興して5件の緊急経済対策を
条例案にして提案しました。
必要経費は、3億7千万円
程度、区予算の0・35%、地
方消費税增收分の3割程度を
回せば十分実現ができます。
区の姿勢、区議会各会派の
対応が問われています。

まろの讀あれこれ
季餅つき、節分、ひな祭り、端午の節句…: その意味を考える機会に



下は原町会の餅つき風景
上は、尾久の原公園に設置
されたお雛様のパネル

11日は原町会の餅つきでした。
役員のみなさんはじめ早朝から本
当にお疲れさまでした。年末に行
われる餅つきですが、年明けの場
合もあります。そんな風景も年々
少なくなっています。尾久の原公
園では季節や行事毎に顔ハメパネ
ルが登場。3月3日が近づき尾
久の原公園サービスセンターの建
物のすぐ前にお雛様のパネルが登
場。節分も過ぎ、上巳の節句・ひ
な祭り、端午の節句・菖蒲の節句
など続きます。節句はほかにも1
月7日七草、7月7日七夕、9月

2面 中小企業支援、
あらBOSAI開催…など

お気軽にご相談ください
定例法律相談会

3月2日(火)
横山事務所18時～20時

弁護士と横山区議が相談をお受けし
ます。お急ぎの場合は、北千住法律事
務所の相談日などご紹介します。
生活相談は、随时受付ています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



横山幸次

区政報告
ニュース

754

2020年2月16日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所

荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメールアドレス
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・
話題など…横山幸次区議
のホームページをご覧く
ださい。



地域経済の主役…中小事業者への支援強化を 設備投資補助拡充で仕事興しと産業育成を

2017年度 区内外発注別の 対象経費・補助金額		
区内		
件数	対象経費	補助金額
14件	43,168,396円	8,968,000円
区外		
件数	対象経費	補助金額
93件	257,531,885円	57,849,000円
合計		
件数	対象経費	補助金額
107件	300,700,281円	66,817,000円

2018年度 区内外発注別の 対象経費・補助金額		
区内		
件数	対象経費	補助金額
12件	17,152,905円	5,132,000円
区外		
件数	対象経費	補助金額
89件	234,591,468円	60,383,000円
合計		
件数	対象経費	補助金額
101件	251,744,373円	65,515,000円

商工会議所荒川支部…「住工共生のまちづくり推進に向けた調査」結果のポイント

<調査結果のポイント>

1. 工場の操業環境について

10年前と比較して工場周辺の「住宅が増加した」と回答した事業者…> 64%

近隣や地域に対し、「操業上配慮しなければいけない」と考える事業者…> 56%

2. 工場の環境対策の実施について
これまでに、近隣や地域に配慮して、音や排気等の「環境対策を実施したことがある」事業者…> 44%（「防音対策」が63%、「操業時間の短縮」が45%、「防臭対策」が26%）

3. 近隣・地域からの苦情について
直近5年間に、近隣・地域から苦

情を受けた事業者…> 16%

「将来の苦情の可能性を懸念している」事業者…> 27%

特に、「工場と住宅が混在」する地域の事業者の割合は32%と大きい。

4. 工場の操業環境と住環境が共存するための施策について

「新たな住民に対する工場操業の理解の促進」が有効と考える事業者…> 47%と最も大きい。

特に、「工場と住宅が混在」している地域の事業者…> 64%と多数。

次いで、「住宅建設者等の入居予定者への工場操業の事前説明の義務化」…> 42%

「工場側の環境対策の設備投資の支援」…> 37%と割合は大きい。



消費税増税によって売り上げが減少、消費税の増税分が転嫁できず、納税のために身を切つてやりくりせざるを得ない中小企業は死活問題に直面しています。こういう時だからこそ、緊急対策をしっかり打つ必要があります。

荒川の小規模事業者への設備投資補助制度は、この間大変喜ばれ、生産性向上だけで済波及効果が証明されています。コンサルとの相談なし（左表参照）。

しかし使い勝手の改善も課題です。コンサルとの相談なし（左表参照）。

「住工共生」で商工会議所がアンケート…区として構想を

ど省略して必要な時に工アコンや冷蔵庫など急速買い替えなど必要なときなど時機を逸しないですぐに支援できるようになります。設備補助の現状を見ますと区内事業者への発注は

全体の12%補助決定交付額も区内外事業者への設備発注には、補助を増額するなど、区内での仕事興しと区内産業育成と改善を求めていきます。

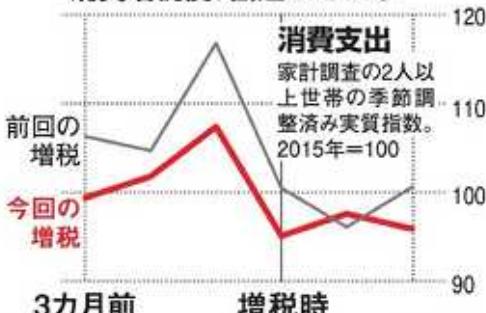
活力が失われます。良好なコミュニティ維持のため、住民と区内製造業の共生を図ることが必要性です。今後中長期で産業を取り入れたまちづくりに向けた構想をたまちづくりに持つべきです。

今週のデータ 消費税増税後に低迷する消費と景気動向

昨年12月の家計調査は前年より4.8%減で3カ月連続の前年割れです。前回増税時と比べて落ち込みは深く回復は鈍くなっています。

間もなく公表される10~12月期のGDPの民間予測は3~4%減の見込み。GDPの6割を占める家計消費を応援しなければ、まちがいなく奈落の底に落ち込みます。

消費支出と景気動向指数は消費増税後、低迷している



3月1日「あらBOSAI 2020」が開かれます

3月1日(日)10時から15時、あらかわ遊園運動場（都電荒川遊園下車）で「あらBOSAI（ぼうさい）」が開かれます。

消防体験、紙食器づくり、応急手当ワークショップ、毛布で担架トライアル、クイズで防災を学ぶなど子どもも一緒に体験体感できます。

ご家族でぜひご参加ください。

